



行列之圖

嘉永六年七月

魯運船隻入津之圖

八月七日

河内津波子殿江口書付字
 其乃魯運船隻入津之圖
 此圖為魯運船隻入津之圖
 此圖為魯運船隻入津之圖



le
te



Vreemde
grootte
Schip



魯國皇全圖一統之魯皇皇帝「ニコラス」
 帝一統シレークスカニセリイル
 世高續と大日本國の執政ノ宣ス

日本國方今ノ形勢と熱心ニ由ル帝國相構ノ在ト思ハ魯皇皇帝方今も人ノ
 使臣を擧人帝ノ爲ニシテ今ノ寄托ニ是ト帝必日知シ道ヲトシテ是トク魯皇
 帝「アキタ」ニテテラ「ル」館「奈魯」ニ臨「私」水師提督「ヨアシ」ニ「ボウ」チ「ヤ」ニ「ク」ニ「奉」テ
 以「皇」任「小」魔「り」ニ「む」右「使」臣「と」道「ヲ」ト「ル」右「帝」方「今」ノ「中」海「軍」艦「船」等「と」別「々」申「上」
 且「日」知「ル」ト「皇」明「人」君「ノ」時「運」不「能」ク「魯」皇「帝」降「ク」魯「皇」帝「方」今「ノ」夏「と」況「明」ト「ル」
 尚「又」魯「皇」人「臣」ノ「利」益「と」者「ノ」向「後」魯「皇」帝「と」日「知」ル「ル」魯「皇」帝「源」出「誰」ニ「シ」テ「モ」
 本國ノ如「朕」者「德」を「同」定「ス」ル「ル」事「と」誠「セ」ル「ル」事「ノ」由「ル」ト「ル」右「帝」方「今」ノ「中」海「軍」艦「船」等「と」別「々」申「上」
 朕「と」魯「皇」帝「と」二「件」ノ「事」一「ニ」テ「魯」皇「帝」ノ「境」界「と」定「ム」ル「ル」事「ハ」何「れ」ニ「モ」不「可」分「別」ノ「事」
 一「ニ」テ「魯」皇「帝」ノ「境」界「と」定「ム」ル「ル」事「ハ」何「れ」ニ「モ」不「可」分「別」ノ「事」一「ニ」テ「魯」皇「帝」ノ「境」界「と」定「ム」ル「ル」事

此書讀之、帝、以府、サント、ラル、エル、ク、
時、千、八百、八十、九年、所、魯、西、亞、全、部、一、統、主、魯、西、亞、帝、而、位、一、千、七、百、七、十、七、年、
共、三、日、而、終、我、前、水、年、也、
レイク、ス、カン、セ、リ、ール、館、子、ツ、セル、ロ、オ、テ、
既、地、日、版、也、
長、河、都、魯、西、亞、
荒、尾、云、云、
川、谷、云、云、
同、舟、云、云、
八、日、云、云、
九、日、云、云、

以、諸、件、を、申、告、せ、ん、為、り、ア、チ、エ、ク、シ、ト、セ、子、ヲ、ル、館、兼、水、師、提、督、ホ、ウ、チ、ヤ、キ、ン、
人、之、命、一、を、備、は、せ、と、貴、國、以、府、ヲ、詳、明、せ、り、也、以、府、を、以、つ、て、子、を、亦、亦、と、申、告、せ、り、
不、明、直、に、申、り、し、め、る、と、知、悉、の、事、な、ら、ん、水、師、提、督、ホ、ウ、チ、ヤ、キ、ン、が、全、權、主、任、
と、し、て、願、文、を、規、例、に、依、り、今、次、大、事、を、法、を、以、て、會、談、且、貴、國、以、府、官、員、
派、一、を、會、同、し、て、決、め、り、約、定、せ、し、む、
貴、國、以、府、帝、府、に、送、り、し、る、の、由、を、今、相、談、を、以、て、一、方、今、申、告、せ、り、我、
以、廷、に、意、を、明、し、申、告、す、一、次、貴、國、以、府、を、確、定、せ、る、の、由、を、海、軍、を、以、て、文、を、貴、國、以、府、
提、督、に、送、り、し、め、る、と、貴、國、以、府、に、送、り、し、め、る、と、貴、國、以、府、に、送、り、し、め、る、と、
提、督、ア、チ、エ、ク、シ、ト、セ、子、ヲ、ル、館、兼、水、師、提、督、ホ、ウ、チ、ヤ、キ、ン、が、全、權、主、任、
貴、國、以、府、の、命、令、に、依、り、法、を、定、め、り、適、當、に、決、定、せ、り、し、る、と、申、告、せ、り、
能、く、復、外、英、明、提、督、の、執、政、の、諸、君、我、以、府、に、意、を、相、談、す、我、水、師、提、督、の、申、
告、を、檢、査、し、し、め、る、と、貴、國、以、府、に、送、り、し、め、る、と、貴、國、以、府、に、送、り、し、め、る、と、
決、定、せ、り、し、る、と、申、告、せ、り、

此書讀之、帝、以、府、サント、ラル、エル、ク、
時、千、八百、八十、九年、所、魯、西、亞、全、部、一、統、主、魯、西、亞、帝、而、位、一、千、七、百、七、十、七、年、
共、三、日、而、終、我、前、水、年、也、

レイク、ス、カン、セ、リ、ール、館、子、ツ、セル、ロ、オ、テ、
既、地、日、版、也、

既、地、日、版、也、

長、河、都、魯、西、亞、
荒、尾、云、云、
川、谷、云、云、
同、舟、云、云、
八、日、云、云、
九、日、云、云、

長、河、都、魯、西、亞、
荒、尾、云、云、
川、谷、云、云、
同、舟、云、云、
八、日、云、云、
九、日、云、云、

長行
大以豐後
水野能後
彼地
川治
荒尾
岡丹
飛鳥

長行
大以豐後
水野能後

右於美善之禮中列在能信寺中

古賀港一節

右於中村為源
中村為源
曾地人物
中村為源

右於平島
平島
中村為源
曾地人物

右於鏡方
鏡方
中村為源
曾地人物

御復簡

伏接來札和 貴國御前大臣布恬延所御命航來親遊而其書實

上宰相子也利羅德公見贈焉閱書中所陳述云 貴國

大君主思我兩國邊疆之交錯欲加整正備悉意旨又云 貴國既擬古

未未有廣大之邦土無要別得新地特盈保滿之道良宜爾且我邦與

貴國各土其土民其民無事相安原靡開衅之端乃今般使節之舉其出好

意而不出惡意亦為彰明較著不容疑者 貴國既以好意未

我邦何得不以好意相報耶若邊土之經界 貴國以為甚不明

晰則諭飭邊藩細加查覈而差大吏予 貴國官人會同商議
以歸劃然邊蕃之查覈必按地圖確有憑據慎重後復不許絲毫誤認

意而不出思意亦為彰明較著不容疑者 貴國既以好意表

我邦何得不以好意相報耶茅邊土之經畧 貴國以為甚不明

晰則諭飭邊藩細加查覈而為大吏之責 貴國官人會同商議

以歸劃一然邊蕃之查覈必按地圖確有憑據慎重從寬不許絲毫球誤

是固非今日所能辨也若夫貿易來往之事則祖宗遺法有勸禁歷世所遵

奉弗失故曩昔 貴國嘗有開市之請而我邦已業固辭其意其鎮未公

等所克悉也但現今宇舟之形勢變遷貿易之風駁日長誠不能取古例律

今更頃者合眾國人亦來乞市日後列國之乞市者必接踵而至夫列國乞市之

繁如此乃是我盡一國之力應承星羅棋布之万国其力之給不給未可知也且

如我境內邦土之貢檢其多寡精粗亦豈且夕可辨之事耶矧我

君主新嗣位百度維新如斯等重大事頃必奏之

京師諭共之則侯群官協同商議公定而后從事顧孰不獲不費三五年之時且

雖差似延緩 公等且從吾言坦懷以俟焉迨議論一定諸事整頓之

後使當登時報聞也况我國之於 貴國壤界相接宜加鄭重故特

遣重臣二員於長崎會晤布帖廷以盡其曲折而其他所宜布教者亦皆俾之

面志幸有以諒之不宣 大俄羅斯國上宰相子七利羅德公閣下

阿部伊執守正弘
牧野備前守忠雅
松平和泉守乘全
松平伊賀守忠優
久世大和守廣周
內藤紀伊守信親

日本國老中

嘉永六年癸丑十月十五日

釋文

俄曰通事ト云ル事ト示人ト布帖廷王命ト云ク我朝ト申候ニ
里ノ事ハ云レカキ事ト示人ト布帖廷王命ト云ク我朝ト申候ニ
連テル知ル事ト示人ト布帖廷王命ト云ク我朝ト申候ニ
俄亂雜借ト云レテ我朝ト申候ニ
未嘗有唐大の邦ト云レテ我朝ト申候ニ
食ホク我朝ト申候ニ
我朝ト申候ニ
兵糧使ヲ遣ハシ今投訴ト申候事ト云レテ我朝ト申候ニ
願出ト云レテ我朝ト申候ニ
中々好ト云レテ我朝ト申候ニ
人倫ト云レテ我朝ト申候ニ
其の所及人ト云レテ我朝ト申候ニ
内々ト云レテ我朝ト申候ニ
必ク其ノ所及人ト云レテ我朝ト申候ニ
中々好ト云レテ我朝ト申候ニ

